科名 外科

対象疾患名 膵癌

プロトコール名 GS療法

Rp	形態	ルート	薬剤名	投与量	コメント	1		8		15		21
1	点滴注	メイン	生理食塩液	250mL	ルートキープ	1		\downarrow				
2	点滴注	側管	生食	50mL	30分かけて	\downarrow		\downarrow				
			デキサート	6.6mg								
3	点滴注	側管	ゲムシタビン	1000mg/m ²	必ず30分で点滴	1		1				
			5%ブドウ糖	100mL								
	内服 S-1を1回40mg/m ² 1日2回 d1朝食後~d14夕食後投与、d15朝食後~d21は休薬											

★1クール=21日

~MEMO~

くゲムシタビン>

ゲムシタビンは必ず30分で投与(副作用増強防止のため)

禁忌:間質性肺炎、肺線維症のある患者、胸部への放射線療法との併用血管痛の対処方法:

- ①静脈炎・血管痛を予防するために以下のことを考慮し、点滴の針を刺す。
- ・血流の良い太い血管をできるだけ使用する。
- ・毎回、できるだけ穿刺部位を変える。
- •長く留置していた静脈、過去に静脈炎を起こした血管は避ける。
- ②点滴中は、以下のことを考慮し、投与する。
- ・ 点滴の入っている腕を予め加温し、血管を温めて広げ、血流を良くする。
- ・メインの生理食塩水の投与量を増やし、より希釈しながら投与する。

<S-1>

- ·S-1は 14日間投与、7日間休薬
- •S-1は 体表面積(BSA) <1.25m²:40mg/回

 $1.25m^2 \le BSA < 1.5m^2 : 50mg/\Box$

BSA \geq 1.5m²:60mg/ \square

Randomized Phase III study of Gemcitabine Plus S-1,S-1 Alone,or Gemcitabine Alone in Patients With Locally Advanced and Metastatic Pancreatic Cancer in Japan and Taiwan:GEST study J Clin Oncol 31:1640-1648 膵癌診療ガイドライン2016年度版 P167